★今までの人生の中で挫折（失敗）した経験を教えてください。

私は中学生のときに野球部でピッチャーをしていました。夏の大会では県ベスト８を目標に練習に励んでいましたが、投げ方が原因で肘を痛めてしまい、医者からしばらくはランニングのみで投球は禁止と言われました。しかし練習をしなければ勝てないという不安と投球をしたい欲望からときどき投球をしてしまいました。その結果完治が遅れてしまい、エースナンバーはチームメイトに譲ることになり、試合も市大会で負けてしまいました。

★(1)上記の経験はどのような目標（課題）でしたか？

春は県大会に出場することができたので夏の大会では県ベスト８に入賞し、後輩たちが県大会に出場しやすくすることが目標でした。(県ベスト８以上に入賞すると次の大会で市から２チーム県大会に出場できます)

★(2)上記の経験はどのような理由で挫折（失敗）したと思いますか？

２つの理由があると考えます。１つ目に肘を痛めないように充分な対策をしていなかったことです。柔軟や準備運動は行っていましたが今考えると充分に行っていたとは思いません。またフォームも自分だけではなく監督やコーチなどの野球に詳しい方に確認していただく必要があったと思います。２つ目に肘を痛めた後の行動です。不安や欲からピッチングをしてしまいました。医者の言うことを守り、治療に専念する必要がありました。

★(3)もう一度同じ目標（課題）に挑むとしたら、どのように取り組みますか？

まずは肘を痛めないような対策です。具体的には充分な準備運動・柔軟です。また監督やコーチからアドバイスをもらい、きちんとしたフォームで練習を行います。次に肘を痛めた後の対策です。自分の身勝手さからチームに迷惑をかけてしまいました。今度は最終目標をきちんと見据えてそれに向かって今一番すべきことは何か考えます。具体的にはランニングだけを行い、大会に間に合うように肘を完治させることに専念します。

あなたの専攻・研究内容について具体的に教えてください。

２月に研究室の配属が決定したばかりなので研究はまだ行っていません。予定では４月から「メカニカルクリンチングによるアルミ・ステンレス板の接合」の研究を行う予定です。アルミやステンレスの板を２枚１組にし、プレス機を用いて板に凹凸をつけます。凸部分の板の外側にマイクロテクスチャーと呼ばれる微小で無数の凹凸を付けます。凹部分の板の内側にも同様にマイクロテクスチャーを付けます。この２枚の板に上下方向からの力を加えることで２枚の板が接合をし、強固の物になりはがれにくくなります。また繰り返しはがしたり、接合したりを行うことが出来るのでマジックテープや空き缶やファスナーなどに応用していく予定です。